

研究だより



せらにし小学校研究部

令和元年11月 6日

No.8

11月に入りました。来週は、せらにし教育研究会があります。本校の授業づくりについて確認しておきましょう。

★1学期の初めに確認したこと

○板書について

児童の主体的な学びを促すため、また、思考力・判断力・表現力を育成するための板書カードを活用していますか。

・対話場面

例) 児童から「例えば」「もし」などの言葉が出されたら、その言葉のカードを黒板に提示することで、児童に意識させる。

・見方・考え方

例) 見通しの場面で、「図を使って」「表を使って」「数直線」などのカードを黒板に提示することで、自力解決できるようにする。また、自分の考えをもつポイントとして、「比較」「分類」などのカードを提示する。まとめの時にも、“今日は、この考え方を使った。”ということが意識できるように使う。

○「学びの手引き」の活用

・授業中、必ず机上に出しておき活用させていますか。

★2学期に入る前に確認したこと

○「せらにし授業スタイル」に沿った授業づくり

児童にめあてをもたせること、適用題、振り返りを行うことを確実にやっていますか。

○子どもたちに説明させる授業

日頃から子どもたちがしっかり話す授業づくりをしていますか。子どもが説明したことを、

教師が説明し直すのではなく、子どもたち同士で納得できるまで説明し合う授業ができていますか。

1時間の授業のねらいとゴールを設定し、ゴールに向かうために何を発問し、何を考えさせるのかを、わたしたち教師自身ももっておくことは、授業を行う上で大事なことです。

○思考を深めるためのノート指導

子どもたちが、考えに困った時、自分のノートを振り返ってみることができるようなノートを作っているでしょうか。

※なぜ授業改善を行うのか、なぜ本校で統一した授業スタイルがあるのか、それは全て児童のためです。児童の学力向上のためにがんばっていきましょう。